

一 般 質 問 通 告 書

令和4年5月27日

午前 9時 7分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年5月27日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 高柳達弥 

質問方式 (○を付ける)	<input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市の農業施策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市の農業施策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>日本の食料自給率は38%（カロリーベース）で食料の約6割を海外から輸入しており、この量を生産するためには日本国内の農地の2倍以上を要し、食料の全てを国内で生産することは困難であり海外の農地に依存している現状である。輸入についても、コロナ禍、ロシア・ウクライナ戦争等により農産物生産の減少、不作や物流障害とさまざまな不安定要素が現れています。このような時、市内農業に目を向け農業生産の増大、農業振興施策をしっかりと図ることが重要と考える。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>農業の発展振興のため、持続可能な農業振興ビジョンの内容を問う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湖西市農業振興協議会の位置づけと農業振興を図るための役割と活動内容、成果について伺う。 2. 農業振興ビジョンを推進するための取組み体制を伺う。 3. 市内農業の持続的発展のためには、新規就農者を育成支援すると共に高齢者、女性、障がい者、企業内人材、外国人材の活用や、企業による農業参入など多様な担い手の確保が必要である。啓発活動や働きやすい環境を整えるための支援も必要と考えるが多様な農業の担い手確保に対する市の考えと、今後の取組みを伺う。 4. 農地の確保には、農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約と農業生産基盤の再整備や、水利施設の耐震化や老朽化対策のため土地改良区の活動を支援し、地域協働による農地・水路・農道等や自 	

然環境の保全、そして農地災害の防止対策、耕作放棄地の再生利用など総合的な取り組みが必要と考えるが市の考えと今後の取り組みを伺う。

5. 稼ぐ農業を確立するためには、農業振興ビジョンではどのような計画か伺う。

6. DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進について、令和4年度の重点施策として全庁横断的に取り組むなかで農林水産省では、農業DXの推進【生産現場におけるデジタル技術の活用】スマート農業に取り組むとあるが農業振興ビジョンでは、どのような計画か伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月 27日

前
午 9時 45分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4年 5月 27日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 加藤 子 己^印
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	下水道事業の課題への対応について
2	太陽光発電設備の災害リスクについて
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	下水道事業の課題への対応について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市下水道事業は平成6年度に事業着手し、令和元年には合併処理浄化槽の普及等により下水道整備区域を縮小した整備方針に変更されました。持続可能な下水道事業とするために、現時点での事業環境や将来における下水道使用量の変化や設備の老朽化等に対応しなければならない事態に直面しています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>下水道事業の持続のために様々な取り組みが必要なため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湖西市における下水道処理人口普及率と浄化槽等も含めた汚水処理人口普及率及び県下における順位を伺います。 2. 人口減少や節水意識の高まりで水量減少等に伴う使用料収入の減少が懸念される中、経営健全化に向けてどのように取り組むのか伺います。 3. 下水道使用料は令和元年10月1日に改定されました。汚水処理費を全て下水道使用料で賄うことになっていますが、現在では一般会計繰入金で補てんされています。今後の下水道使用料の改定と繰入金についての動向を伺います。 4. 布設後50年を経過する下水道管はありませんが、機械・電気設備が更新対象となる処理場は、確実に増加しますが、効率的な事業運営をどのように取り組むのか伺います。 5. 下水道管に起因する道路陥没事故を防止するために予防保全型の維持管理の取り組みを伺います。 6. 下水道台帳のデータベース化及び施設毎の維持管理情報の電子化・データベース化の現状を伺います。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	太陽光発電設備の災害リスクについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>太陽光発電による再生可能エネルギー事業は、長期安定的な主力電源として持続可能なものとなるよう、円滑な大量導入に向けた取組を引き続き推進していく必要があります。</p> <p>脱炭素化、再生可能エネルギーの拡大で導入量の増加が見込まれる太陽光発電は、平野部に比べ土地代が安い山間部への事業が多くみられます。</p> <p>一方、太陽光発電設置造成地は近年頻発する豪雨により土砂流出や濁水の発生、また景観への影響、反射光による生活環境への影響等の環境被害が発生しています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>森林伐採を伴う山間部造成地や住宅地の環境保全と災害リスクをなくすため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湖西市内の太陽光発電設備数を把握しデータベースはどのように作られ管理されているか伺います。 2. 既設の太陽光発電設備が誘発する土砂崩れや地盤沈下の恐れがある箇所、現場調査や対策に取り組んできたか伺います。 3. 寿命を迎えるパネルの処分、リサイクルについてどのように考えているか伺います。 4. 荒廃農地のように導入できる場所には規制がかけられ、本来は森林を守らなければならないところには規制されていない現状を変えていく流れはないか伺います。 5. 令和4年7月1日に施行される条例、施行規則は強制力のあるものとなっているか伺います。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和4年5月30日

前
午8時40分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年5月30日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 菅沼 淳

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	障害のある児童・生徒の学校生活の向上について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	障害のある児童・生徒の学校生活の向上について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和3年度に白須賀小学校に開設された肢体が不自由な児童のための特別支援学級につきまして、当該特別支援学級の対象である児童は、開設以前にも存在をしていたと考えられますが、何でその時点での開設であるのか、また、対象児童は、障害者権利条約・障害者差別解消法・インクルーシブ教育の観点から、通常学級での教育が可能ではないかと考えることからお伺いをするものであります。</p> <p>校舎へのバリアフリー化に伴うエレベーター設置整備につきまして、これまで同僚議員、また私自身、学校に在籍する移動を困難とする障害を持つ児童への合理的配慮としてエレベーター設置整備について質問をさせていただきました。質問に対してはいずれも、学校施設長寿命化大規模改修計画に合わせて検討し、現状は階段昇降機の設置、支援員の配置で子供が困らない形で対応していくという答弁でありました。</p> <p>私の所属する福祉教育委員会は、令和3年度より研究課題として「インクルーシブ教育の推進について」を取り上げ、令和3年12月にエレベーター設置整備を積極的に推進している先進地である千葉市教育委員会とオンラインによる研修をさせていただきました。</p> <p>エレベーター設置整備を積極的に推進する経緯(きっかけ)をお尋ねしたところ、平成16年第4回の定例会において、議員の「既存校へのエレベーターの計画的な導入」の質問に対して、当時の市長が「従来より、エレベーターの設置につきましては、新設及び改築の際に設置しておりますが、ハートビル法が平成15年4月に一部改正され、新たに学校施設がバリアフリー化の努力義務対象施設として加わりましたことから、既存校につきましては、特に障害のある児童の通学している学校を優先的に、実施に向けて検討してまいりたいと考えております。」と答弁されたことを受け、教育委員会では車いすを利用する児童・生徒の学校生活の向上を図るため、優先度の高い学校からエレベーターを設置整備する方針で設置をしているとの説明でありました。参考にしていただ</p>	

ければと思います。

開設された特別支援学級に在籍する児童、また市内他校の通常学級に移動を困難とする障害を持つ児童が在籍する現状にある中、そして文部科学省は、令和2年12月25日付けで通知した「学校施設におけるバリアフリー化の一層の推進について」及び「公立小中学校等施設におけるバリアフリー化の加速について」において、学校施設のバリアフリー化を着実かつ迅速に進めるようお願いしているところであり、更に令和3年11月11日付けの「学校施設におけるバリアフリー化のための方策等について」の事務連絡では、学校設置者は、公立小中学校等施設における令和7年度末までに緊急かつ集中的に整備を行うための整備目標の達成に向け取組の加速をお願いするとあり、特にエレベーターについては、整備目標の対象範囲に、車椅子に座ったままでは乗降できない簡易的な昇降機は含まないとあります。

以上のことから、バリアフリーの一環であるエレベーターの設置整備について現在のお考えを伺いたく再度の質問をさせていただくものであります。

(質問の目的)

障害のある児童・生徒の学校生活の向上、及び児童・生徒・保護者・学校関係者の負担軽減のために取組を検討し推進していただきたい。

(質問事項)

【特別支援学級について】

1. 令和3年4月に開設された肢体が不自由な児童のための特別支援学級については、開設以前にも対象となる児童が存在されていたのではと推測されますが、何でその時点において市内の学校での開設に至ったのか、経緯・背景・きっかけをお伺いします。
2. 肢体が不自由な児童のための特別支援学級の学習指導は通常学級と同様の教科書を使用していると思いますが、教科書が同様であるなら通常学級での指導も可能ではと考えますが、区別をされる理由をお伺いします。
3. 当該児童、またその保護者が通常学級での教育を希望された場合、可能かどうか、お伺いします。

【校舎のエレベーター整備について】

4. 公立小中学校等施設のバリアフリー化に関する令和7年度末までの国の整備目標に対して、当市のそれぞれの推進状況をお伺いします。

《整備目標》

- ・車椅子利用者用トイレについて、避難所に指定されている全ての学校に整備する。
- ・スロープ等による段差の解消について、全ての学校に整備する。
- ・エレベーターについて、要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校に整備する。

5. 令和5年度には湖西中学校に体の内部に先天性の障害を持ち移動を困難とする児童が入学します。

湖西中学校には、北・南と2校舎あり、南校舎にはエレベーターが整備されております。校舎間の移動については、1階・2階・3階に整備された連絡通路を利用されておりますが、北・南校舎は高低差があることから、それぞれの通路には階段を設け調整をしております。

移動を困難とする児童には大きな障壁になると考えますが、市はどのような対応・対策をお考えかお伺いします。

6. 白須賀小学校、また市内他校において、肢体に障害を持ち移動を困難とする児童が在籍する現状、文部科学省による学校施設におけるバリアフリー化の一層の推進及び加速化通知等を踏まえ、バリアフリーの一環である校舎へのエレベーター設置整備について、市長のお考えをお伺いします。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和4年 5月 30日

前
午9時 12分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年5月30日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 荻野利明

(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市の生活困窮者への対応について
2	児童虐待・DVへの対応について伺う。
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市の生活困窮者への対応について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>コロナ禍で多くの市民が生活苦から大変な苦勞をしている。生活保護に至る前の第二のセーフティネットの充実・強化を図る必要がある。“我が事・丸ごと”の地域共生社会の実現に向けた湖西市の生活困窮者自立支援への対応を質問する。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>コロナ禍で多くの市民が生活苦で困っている。生活保護や生活困窮者自立支援に向けた取り組みを質問する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度における生活困窮者自立支援の実績は。 2. 令和3年度における生活困窮者自立支援の中で、生活保護に結びつけた実績を伺う。 3. いかにして相談窓口にとどり着かせるかが重要である。市に相談することも知らない市民が多いと思う。こうした市民にどう窓口までたどり着かせるのか伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	児童虐待・DVへの対応について伺う。
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>コロナ禍で児童虐待・DVが増えていると言われていています。児童虐待・DVは家庭内で起きていることになかなか外からはわかりづらいと言われていています。事件・事故に至る前に救い出すことが大事です。市の対応を伺う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>コロナ禍で児童虐待・DVが増えていると言われていています。市内における令和3年度の状況はどうであったのか伺いたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童虐待・DVについて、相談件数の実績は。 2. 市民からの通報件数は。 3. 幼稚園・保育園・学校などからの通報件数は。 4. 通報があった場合の対処方法は。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

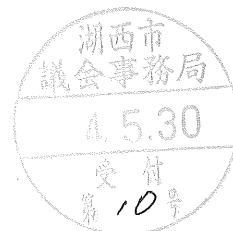
令和4年 5月 30日

前
午 9時 39分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年 5月 30日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 三上 元  (印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 <input checked="" type="radio"/> 一括の質問答弁 <input type="radio"/>
番号	主 題
1	山口県阿武町事件からの教訓
2	災害復旧に係る市の財政面における備えについて
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	山口県阿武町事件からの教訓
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>誤送金という事件はどの市町村でも発生する可能性があると思う。 そして、私はこの事件は「報告のスピード」に問題があったと思った。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>当市で誤送金が発生した時の対応について、今のままでよいのか確認するため、当市のマニュアルについて質問する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 4,000万円級の大きな額の送金時の作業・チェック体制の現状と、見直しの必要性について市の考えを伺う。 2. 今回のような誤送金を発見した時、副市長が知るまでのスピードが重要だと考えるが、報告体制や対応マニュアルの現状と、見直しの必要性について市の考えを伺う。 3. 誤送金発見時が土日祝日でも、早急に弁護士等の相談機関に連絡が取れる体制になっているか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	災害復旧に係る市の財政面における備えについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>当市内の知人から、「熱海の災害から学ぶ点にもう一つある。それは資金的備えである。県には大規模地震災害対策基金がある。他の基金も災害に使用できる事が書かれており、総額約 6,000 億円の備えがある。しかし湖西市にはその名称の基金がない。」と言われて、私なりに考えた。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>災害復旧時において、市に十分な資金的備えがあるかどうか確認する。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 県には大規模地震災害対策基金と明確に名前をつけた基金が 19 億円存在する。湖西市にはその名称の基金はないが、災害復旧時に使用できる基金として、今年 3 月末には公共施設整備基金 32 億円と財政調整基金 36 億円の合計 68 億円は使える、と解釈するがそれでいいのか。</p> <p>2. 基金の比較は類似都市と比較する方が妥当かもしれないが、ここでは県と比較してみる。県の財政規模の総額は 2 兆 2,000 億円を超える。当市の規模は 248 億円で県の 1.1 %である。</p> <p>県の基金条例に災害時に使用できるとされている基金が 3 つある。</p> <p>県債管理基金 5,099 億円、財政調整基金 89 億円、庁舎建設基金 56 億円、である。これに災害対策基金 19 億円を合わせると 5,263 億円である。その 1.1%は 58 億円となる。2018 年 9 月末の数字である。</p> <p>当市の災害復旧時に使用できる基金は 68 億円なので安心できる水準と考えるが、その解釈でよいか。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること